東京都がん対策推進計画に係る都民意識調査

報告書

令和5年3月 東京都福祉保健局

1		_
	\blacksquare	

I II	調査実施概要 回答者の属性	
Ш	調査結果の分析	5
-	1 : 回答者の状況	5
4	2 : 「がん」についての認識	8
;	3 : 「がん」に関する知識	15
2	4 : 「がん」検診について	20
Į	5 : 「肝炎ウイルス」について	30
,	6 : 「がん教育」について	
,	7:「がん」にかかった場合、整っていることが望ましい環境	45
8	8 : がんの「緩和ケア」について	47
9	9 : 「がんゲノム医療」について	49
-	10:人生の最終段階の療養場所	50
-	11:「小児がん」について	51
-	12:「がん」に関する情報収集	53
-	13:「がん」に関する自由記述	56

付 調査票 (提示調査画面)

I 調査実施概要

- (1) 調査目的「東京都がん対策推進計画」の第3次改定に向けて、がんに関する現状及び今後の課題を把握することを目的として、「東京都がん対策推進計画に係る都民意識調査」を実施した。
- (2) 調査項目・内容 後掲の調査票(提示調査画面)を参照
- (3) 調査方法 調査モニタを使用したインターネット調査
- (4) 調査地域及び調査対象者 東京都内全域に居住する都民 5,154 人
- (5) 調査期間 令和4年11月2日(水)から同月4日(金)まで
- (6) 報告書の見方
 - (ア)有意差検定について

本調査では、有意水準 5%で全体との差の検定を実施した。有意差検定とは、調査結果内のする 2 つのデータについて、それらのデータの差が統計学的に「偶然ではなく意味があると考えられる」差かどうかを検定するものである。本調査ではそれぞれ全体回答と特定属性の回答者による回答(例:「男性」)において差の検定を実施している。

(イ)前回調査との比較について

前回調査(※)との比較は、前回調査においても同様の質問がある項目についてのみ実施している。前回調査と聴取方法に変更(例:単一選択 → 複数選択)があったものは、備考欄にその旨を記載している。

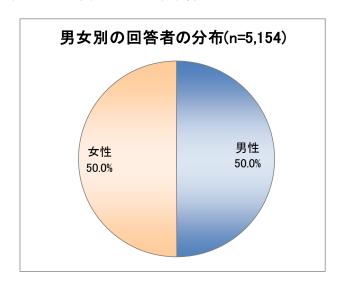
※平成29年2月に、同じ目的で実施した都民意識調査(前回調査対象者数は5,380人)

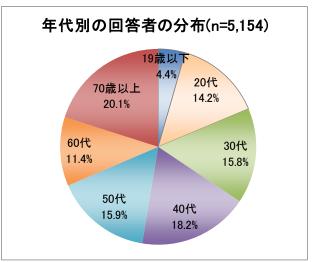
(ウ)コメントによる言及箇所について

今回の全体回答と特定属性の回答者による回答(例:全体回答と男性による回答)との間での有意差検定(有意水準5%)を行い、有意差ありと判定された部分について言及。また、前回調査との比較を行い、±10pt以上の差がある部分について言及。その他、傾向の差がみられる部分についてコメントを記載。

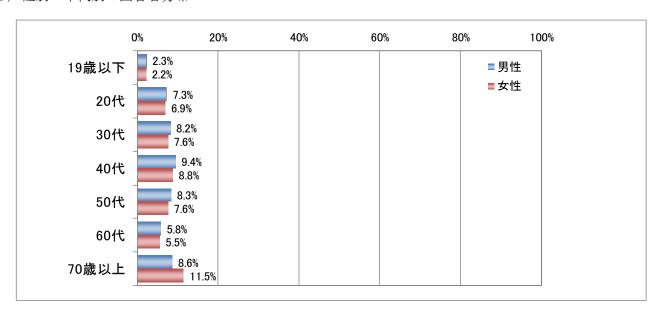
Ⅱ 回答者の属性

(1) 性別・年代別での回答者分布





(2) 性別×年代別の回答者分布



n 数	男 性	女 性	合計	
合計	2,575	2,579	5,154	
19歳以下	118	111	229	
20代	374	358	732	
30代	422	390	812	
40代	487	452	939	
50代	430	390	820	
60代	300	286	586	
70歳以上	444	592	1,036	

Ⅲ 調査結果の分析

1 :回答者の状況

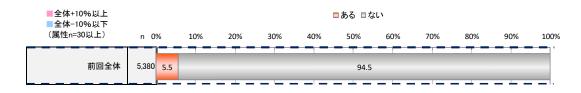
問1. あなたご自身は、これまで「がん」になられたことがありますか。 (択一式)

【全体】

- ・ 「がん」経験者は 7.5%、うち寛解者が 5.0%、治療中の者が 2.1%、治療をしていない者が 0.4%。 【性別×年代別】
- ・ 男性 20 代・40-50 代及び女性 19 歳以下-30 代は「がん」経験者が有意に少なく、高齢層(60 代以上)は「がん」経験者が有意に多い。
- ・ 男性 70 歳以上において、「がんになった経験があるが、寛解している」と回答した人が 16.4%と 顕著に多い。

【前回調査との比較】

・ 前回調査(5.5%)と比較して、「がん」経験者は2.0pt 増加。



■あるが、寛解している ■あり、治療中である ■あるが、治療はしていない ■がんになったことはない ある・計 n 0% 20% 100% 10% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 5,154 5.0 2.1 0.4 今回全体 92.5 7.5 男性計 2,575 5.2 2.1_{0.4} 7.7 118 0.8 19歳以下 3.4 374 1.1 95.7 4.3 422 2.8 3.1 30代 93.8 6.2 男性 487 1.2 1.0 97.7 40代 2.3 430 2.8 0.2 50代 96.5 35 300 7.3 2.0 89.3 60代 10.7 70歳以上 444 16.4 5.0 21.4 2,579 4.7 2.1 女性計 92.7 7.3 19歳以下 1110.9 0.9 358<mark>1.1</mark> 0.3 20代 98.0 2.0 390 2.6 30代 96.9 3.1 05 女性 452 3.5 1.8 0.2 40代 94.5 5.5 390 5.1 3.3 91.0 9.0 50代 286 7.0 3.8 0.7 60代 11.5 88.5 70歳以上 592 9.0 ^{2.5}1.0 12.5

1:回答者の状況

問2. あなたの周りで「がん」になられた方はいますか(いましたか)。(択一式) ※ご家族(血縁関係がない方も含む)や友人などすべて含めてお答えください。

【全体】

・ 周囲に「がん」経験者がいる人は 71.1%と過半数。

【性別×年代別】

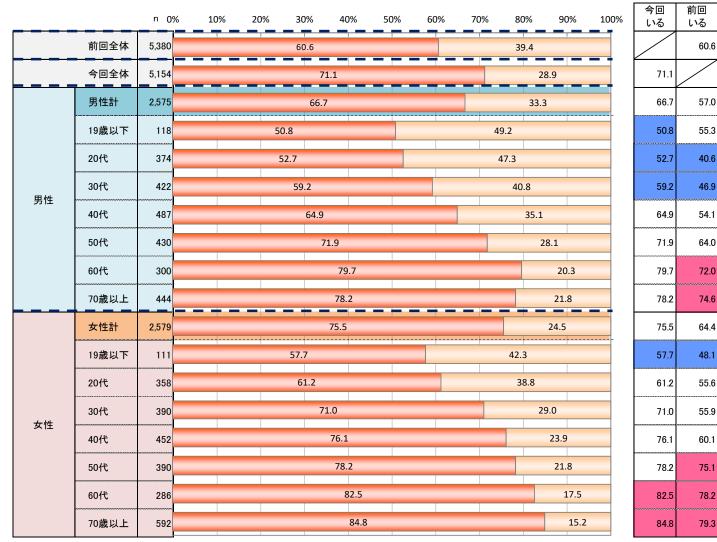
男女とも、年齢が上がるほど周囲に「がん」経験者がいる人が有意に多い。

【前回調査との比較】

・ 前回調査(60.6%)と比較して、周囲に「がん」経験者がいる人が10.5pt アップしており、全体的 に増加傾向にある。

■各全体+10%以上 ■各全体-10%以下 (属性n=30以上)

■いる/いた ■いない



1:回答者の状況

問3. 前間でご自身の周りに「がん」になられた方がいるとお答えになった方にお伺いします。 その「がんと診断された方」とあなたとの関係において、あてはまるものをお選びください。 (複数回答)

【全体】

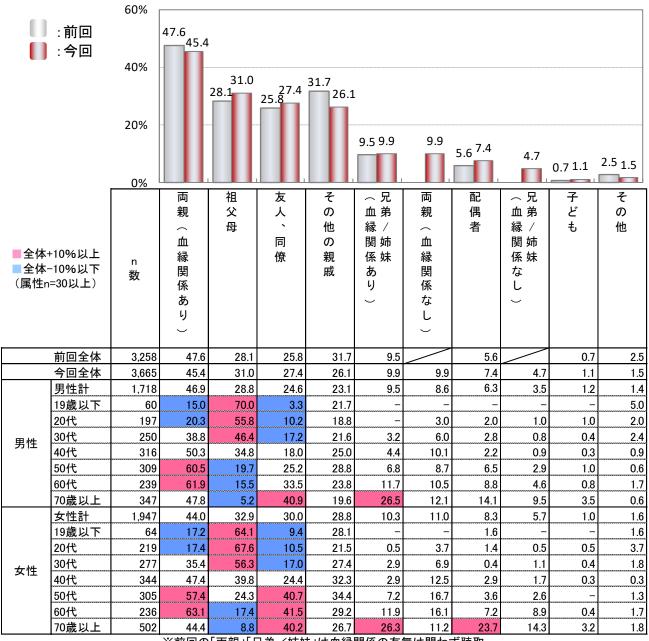
・ 「両親(血縁関係あり)」が 45.4%でトップ、「祖父母」(31.0%)、「友人、同僚」(27.4%)、「その他の親戚」(26.1%)とつづく。

【性別×年代別】

・ 男女とも、30代以下の若年層は「祖父母」、50-60代は「両親(血縁関係あり)」、70歳以上は 「友人、同僚」「兄弟/姉妹(血縁関係あり)」「配偶者」のスコアがそれぞれ有意に高い。

【前回調査との比較】

・ 前回調査と比較して、大きな変化はみられない。



※前回の「両親」「兄弟/姉妹」は血縁関係の有無は問わず聴取

問4. 「がん」における以下の内容について、あなたのお考えにあてはまるものを それぞれお選びください。(択一式)

【全体】

・ 思う(計)をみると、「多くのがんは早期発見により治療が可能である」が 95.1%で最も高く、 一方「自分はがんにはならないと思っている」が 26.7%で最も低い。

【自分の「がん」経験有無による比較】

・ 「そう思う」のスコアを全体と比較すると、すべての項目でがん経験ありのスコアが高い。 中でも、「がんになっても治療しながら働くことは可能である」では 21.2pt のスコア差がみられる。

今回(令和4(2022)年) : n=5,154 前回(平成29(2017)年) : n=5,380 自分が「がん」経験あり : n=386	そう思う	ややそう思う	そう思わない	そう思わない	思 う ・ 計 ()	思 わない・ 計 ()
(1)がんは治る						
病気である	20.6	54	.7	21.5 3.3	75.3	24.7
<参考:前回>	15.8	52.3		25.6 6.2	68.1	31.9
<参考:自分が「がん」経験あり>	36.3		53.4	9.1	89.6	10.4
				1.5		
(2)自分はがんになら ないと思っている	6.3 20.4	4.	5.6	27.7	26.7	73.3
<参考∶前回>	6.6 23.2	4	12.3	27.9	29.8	70.2
<参考:自分が「がん」経験あり>	7.0 9.3	25.9	57.	8	16.3	83.7
(3)多くのがんは早期発見により治療が可能である	52	2.0	43	$\frac{4.0}{0.8}$	95.1	4.9
<参考:前回>	36.4		52.9	8.6	89.3	10.7
│ │<参考:自分が「がん」経験あり>		67.6		29.3 2.8	96.9	3.1
				0.3	30.3	0.1
(4)がんにならないためには 生活習慣の改善が重要である	39.3		47.9	11.2	87.2	12.8
〈参考:前回〉	28.4		54.3	1.6 14.72.6	82.7	17.3
│ │<参考:自分が「がん」経験あり>	39.9		44.3	13.2	84.2	15.8
				2.6		
(5)がんになっても治療しながら 働くことは可能である	23.9	5	2.4	20.8 2.9	76.3	23.7
<参考:前回>	15.3	51.8		28.0 4.9	67.1	32.9
<参考:自分が「がん」経験あり>	45.3	l	44.3	8.32.3	89.4	10.6

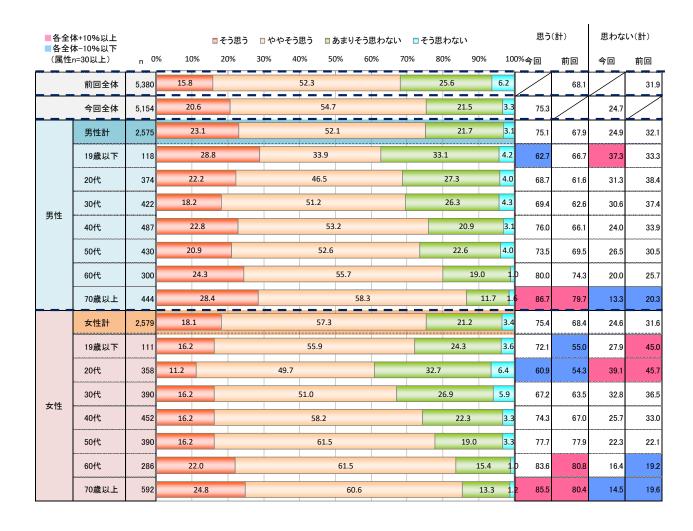
- **問4.** 「がん」における以下の内容について、あなたのお考えにあてはまるものを それぞれお選びください。(択一式)
- (1)「がん」は治る病気である

【性別×年代別】

- ・ 男女ともに 70 歳以上の高齢層において、思う(計)のスコアが有意に高い。
- ・ 一方、男性 19 歳以下・女性 20 代の若年層において、思う(計)のスコアが有意に低く、 若年層と高齢層で認識の違いが存在することが窺える。

【前回調査との比較】

· 前回調査(68.1%)と比較して、思う(計)は7.2pt 増加。



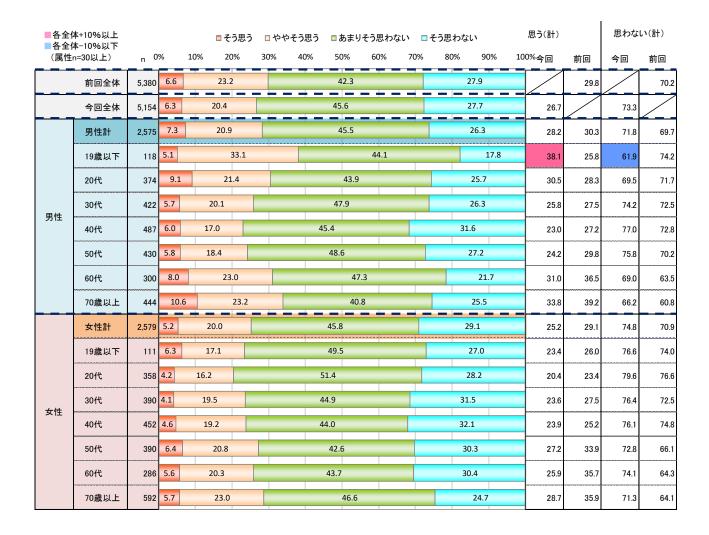
- **問4.**「がん」における以下の内容について、あなたのお考えにあてはまるものを それぞれお選びください。(択一式)
- (2) 自分は「がん」にならないと思っている

【性別×年代別】

・ 男性 19 歳以下において、思う(計)のスコアが有意に高い。その内訳をみると「ややそう思う」の スコアが 33.1%と有意に高い。

【前回調査との比較】

・ 前回調査(29.8%)と比較して、思う(計)のスコアは 3.1pt 減少。



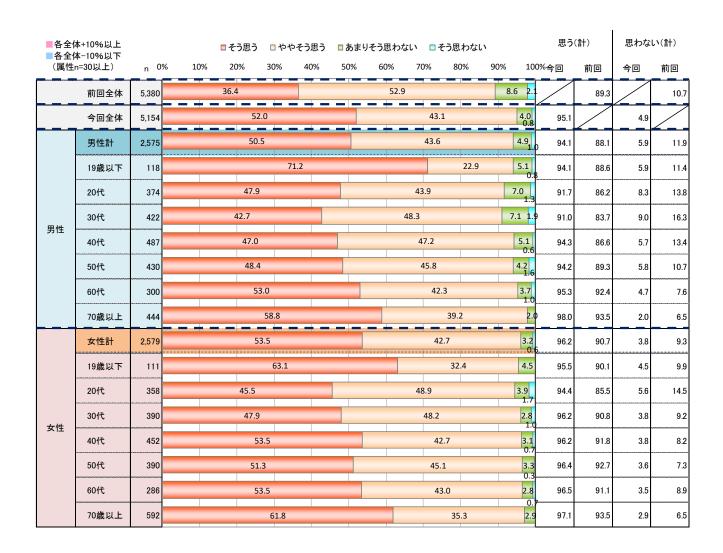
- **間4.**「がん」における以下の内容について、あなたのお考えにあてはまるものを それぞれお選びください。(択一式)
- (3) 多くの「がん」は早期発見により治療が可能である

【性別×年代別】

- 男女ともに 19 歳以下・70 歳以上で「そう思う」のスコアが有意に高く、 19 歳以下の若年層と 70 歳以上の高齢層で同じ傾向がみられる。
- ・ 一方、男性30代及び女性20代では「そう思う」のスコアが有意に低い。

【前回調査との比較】

・ 前回調査 (89.3%) と比較して、思う(計)のスコアが 5.8pt 増加。その内訳をみると、「そう思う」のスコアが特に伸びており、前回調査 (36.4%) と比較して 15.6pt 増加。



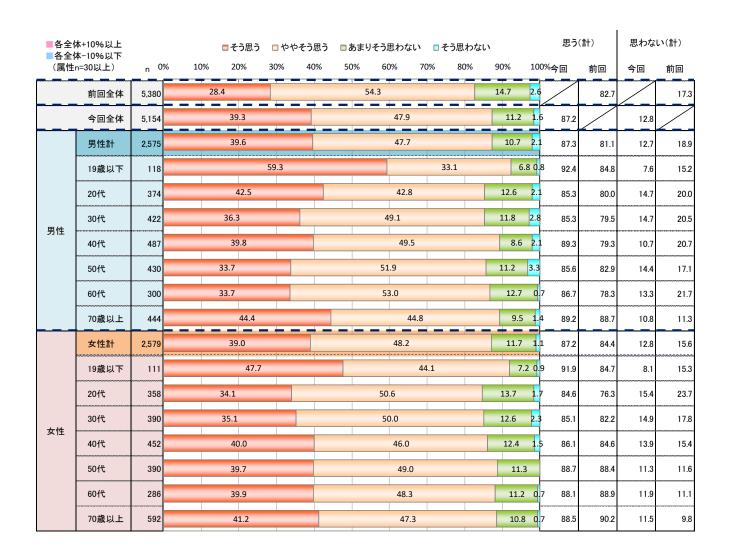
- **問4.** 「がん」における以下の内容について、あなたのお考えにあてはまるものを それぞれお選びください。(択一式)
- (4) 「がん」にならないためには生活習慣の改善が重要である

【性別×年代別】

- ・ 男性 19 歳以下・70 歳以上で「そう思う」のスコアが有意に高く、男性の若年層と高齢層で同じ傾向がみられる。
- ・ 一方、男性 50-60 代・女性 20 代では「そう思う」のスコアが有意に低い。

【前回調査との比較】

・ 前回調査 (82.7%) と比較して、思う(計)のスコアは 4.5pt 増加。その内訳をみると、「そう思う」のスコアが特に伸びており、前回調査 (28.4%) と比較して 10.9pt 増加。



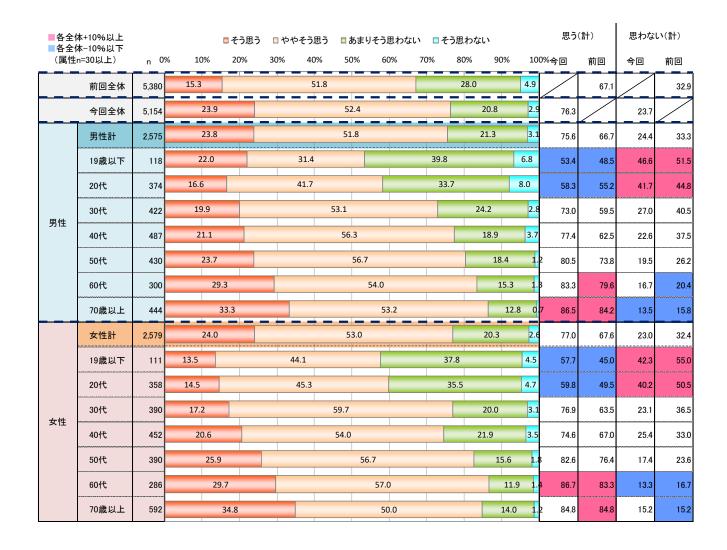
- **問4.** 「がん」における以下の内容について、あなたのお考えにあてはまるものを それぞれお選びください。(択一式)
- (5) 「がん」になっても治療しながら働くことは可能である

【性別×年代別】

- ・ 男性 50-70 歳代以上・女性 50-70 歳代以上において、思う(計)のスコアが有意に高い。
- ・ 一方、男女ともに 19 歳以下-20 代の若年層において、思わない(計)のスコアが有意に高く、若年層と高齢層で認識の違いがあることが窺える。

【前回調査との比較】

・ 前回調査(67.1%)と比較して、思う(計)のスコアは9.2pt 増加。



問5. 前間の「がんになっても治療しながら働くことは可能である」について「そう思わない」「あまりそう思わない」とお答えになった方にお伺いします。 あなたが「がんになっても治療しながら働くことは可能である」と思わない理由のうち 最もあてはまるものをお選びください。(択一式)

【全体】

・ 「体力的に難しいと思うから」が 61.3%でトップ、「業務量の調整など、業務上の配慮を得ること が難しいと思うから」(12.7%)、「周囲に治療と仕事を両立している人がいないから」 (9.8%)とつづく。

【性別×年代別】

- ・いずれの性別×年代別でも「体力的に難しいと思うから」がトップ。
- ・ 男性 40 代において、「治療をしながら働くことについて職場の理解がなさそうに思う」のスコアが 14.5%、「業務量の調整など、業務上の配慮を得ることが難しいと思うから」のスコアが 24.5% と有意に高い。

■体力的に難しいと思うから

■周囲に治療と仕事を両立している人がいないから

■自分の職場では入院や通院目的の休暇が取りづらいから □治療をしながら働くことについて職場の理解がなさそうに思うから □業務量の調整など、業務上の配慮を得ることが難しいと思うから □その他 n 0% 100% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 今回全体 1,221 9.8 61.3 4.8 8.8 12.7 2.6 男性計 5.2 629 55 5.5 3.6 10.9 12.7 19歳以下 67.3 4.5 4.5 10.9 20代 156 11.5 66.7 11.4 0.9 30代 15.8 56.1 7.0 8.8 男性 44.5 4.5 14.5 24.5 40代 9.1 110 15.5 6.0 11.9 50代 52.4 14.3 84 12.0 10.0 50 6.0 50.0 8.0 14.0 60代 70歳以上 60 6.7 65.0 3.3 3.3 10.0 8.6 65.2 8.1 女性計 592 72.3 4.3 6.4 8.5 19歳以下 8.5 47 1.4 6.9 14.6 20代 144 8.3 68.8 5.6 2.2 7.8 15.6 68.9 30代 90 女性 54.8 7.8 7.0 14.8 40代 12.2 115 10.3 16.2 11.8 58.8 50代 681.5 38 5.3 55.3 13.2 18.4 60代 7.9

74.4

1.1 10.0

5.6 4.4

90 4.4

70歳以上

問6.あなたは「がん」に関する以下の内容についてご存じですか。(択一式)

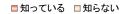
(1) 日本人のおよそ二人に一人が「がん」になる

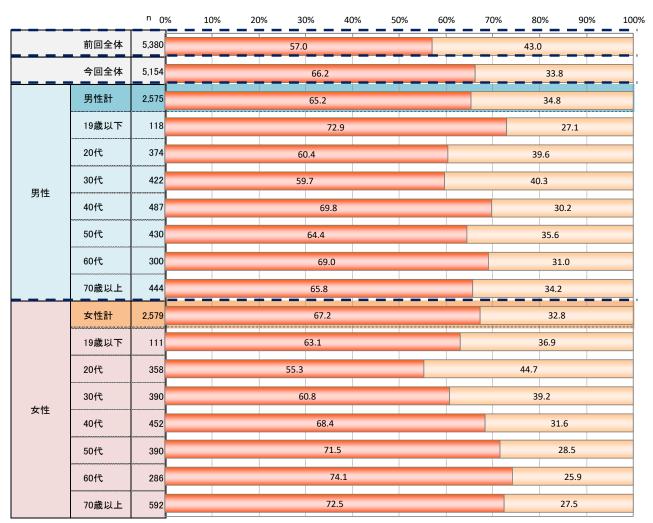
【全体】

- ・ 「知っている」が 66.2%、「知らない」が 33.8%で「知っている」のスコアが 32.4pt 高い。 【性別×年代別】
- ・ 女性 50-70 歳以上において「知っている」のスコアが有意に高い。
- ・ 一方、男女ともに 20-30 代は「知っている」のスコアが有意に低い。

【前回調査との比較】

・ 前回調査 (57.0%) と比較して、「知っている」のスコアが 9.2pt 増加。





問6. あなたは「がん」に関する以下の内容についてご存じですか。 (択一式)

(2) 「がん」になる人は高齢になるほど増加する

【全体】

- ・ 「知っている」が 79.7%、「知らない」が 20.3%で「知っている」のスコアが 59.4pt 高い。 【性別×年代別】
- ・ 男性 19 歳以下において「知っている」のスコアが 89.0%と有意に高い。
- ・ 一方、女性70歳以上は「知っている」のスコアが70.6%と有意に低い。 【前回調査との比較】
- ・ 前回調査 (77.2%) と比較して、「知っている」のスコアが 2.5pt 増加。

■知っている □知らない 10% 20% 50% 70% 80% 90% 100% 前回全体 5,380 77.2 22.8 今回全体 5,154 79.7 20.3 男性計 2.575 81.6 18.4 19歳以下 118 89.0 20代 374 81.3 18.7 30代 422 84.4 15.6 男性 40代 81.7 18.3 487 50代 430 80.7 19.3 60代 300 70歳以上 444 77.7 22.3 22.2 女性計 2,579 77.8 86.5 19歳以下 111 20代 358 84.1 15.9 30代 390 81.5 18.5 女性 81.0 19.0 40代 452 74.9 25.1 50代 390 75.5 24.5 60代 286 70歳以上 592 70.6 29.4

- 問6. あなたは「がん」に関する以下の内容についてご存じですか。 (択一式)
 - (3) 若い世代では男性より女性のほうが「がん」になる人が多い

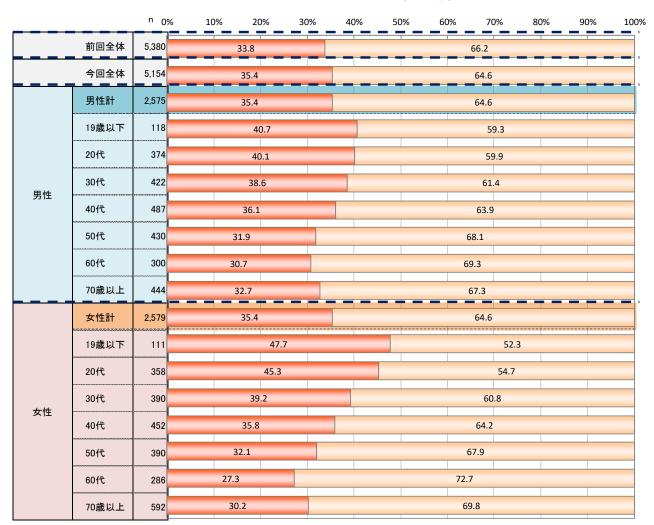
【全体】

- ・ 「知っている」が 35.4%、「知らない」が 64.6%で「知らない」のスコアが 29.2pt 高い。 【性別×年代別】
- ・ 女性 19歳以下-20代において「知っている」のスコアが有意に高い。
- ・ 一方、女性60-70歳以上は「知っている」のスコアが有意に低い。

【前回調査との比較】

· 前回調査と比較して、大きな差異はみられない。

■知っている ■知らない



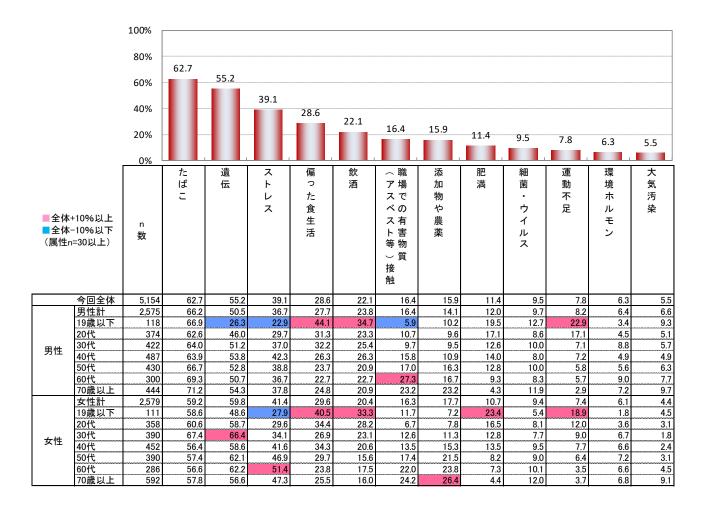
問7.以下のうち、「がん」の原因になると思うものを3つまでお選びください。(複数回答) ※4つ以上あてはまる方は、特に「がん」の原因になると思うものをお選びください。

【全体】

・ 「たばこ」が 62.7%でトップ、「遺伝」(55.2%)、「ストレス」(39.1%)、「偏った食生活」 (28.6%)とつづく。

【性別×年代別】

- ・ 男女ともに19歳以下において「偏った食生活」「飲酒」「運動不足」がそれぞれ有意に高い。
- ・ 男性 60 代では「職場での有害物質(アスベスト等)接触」、女性 30 代では「遺伝」、女性 60 代では「ストレス」、女性 70 歳以上では「添加物や農薬」が有意に高い。



問8.以下のうち、「がん」の危険性を高めると思うものを3つまでお選びください。(複数回答) ※4つ以上あてはまる方は、特に「がん」の危険性を高めると思うものをお選びください。

【全体】

「たばこを吸う習慣があること」が 72.0%でトップ、「放射線に被曝すること」(47.7%)、「他人のたばこの煙を吸うこと(受動喫煙)」(43.1%)とつづく。

【性別×年代別】

・ 男性 70 歳以上・女性 60-70 歳以上において「放射線に被曝すること」のスコアが有意に高い。

